



令和3年9月10日発行 小平市立小平第十四小学校 保健室

さいがいじ いりょうたいせい 災害時の医療体制ってなに？

9月1日は防災の日でした。大地震などが起こったとき、どのように行動すればよいかを覚えるため、避難訓練がありましたね。さて、地震や火事などの災害が起こると、倒れてきたものの下敷きになったり、熱い煙を吸ってやけどをしたりしてけが人が多くなり、医師や看護師の手などが足りなくなると予想されます。そのような時には病院に運ぶ順番を決める「トリアージ」という方法がとられることがあります。

救助に来た医師はけが人の手首に4色のカードをくくり付けます。

赤・・・今すぐに治療をしないと命が危険な人（意識がない、大出血など）

黄・・・赤ほどではないが自分では歩くことができない大けがの人（両足の骨折など）

緑・・・自分で歩けるが、けがをしている人（腕の骨折、捻挫など）

黒・・・残念ながら命を落としてしまった人

救急隊は赤→黄の順番に病院に運びます。緑の人は歩いて救護所に移動してもらいます。黒の人は専用スペースに運ばれます。

災害の時は大けがの人優先なので、とても痛くても捻挫や指の骨折などのけがは緑になります。また、救急車を呼んでもすぐ来られない可能性が高いです。応急手当のしかたを知っておくといざという時に役に立ちます。



❗ 骨折・捻挫の応急手当

そえ木で固定する
骨が折れて痛みがある所をむやみに動かすのは禁物です。折れた骨を支えるそえ木になる物を用意し、折れた骨の両側の関節とそえ木を布などで結び、固定します。

三角巾を使う

三角巾は身体のどこでも使え、スカーフや風呂敷、大判ハンカチでも代用可能。傷口の汚れは水で流し、滅菌ガーゼなどを当てて使います。結び目が傷口の真上にこないようにします。

身長、体重の計測を

しました。

2学期の計測が終了しました。多くの方が身長も

体重も少しずつ増えていました。成長のスピードは

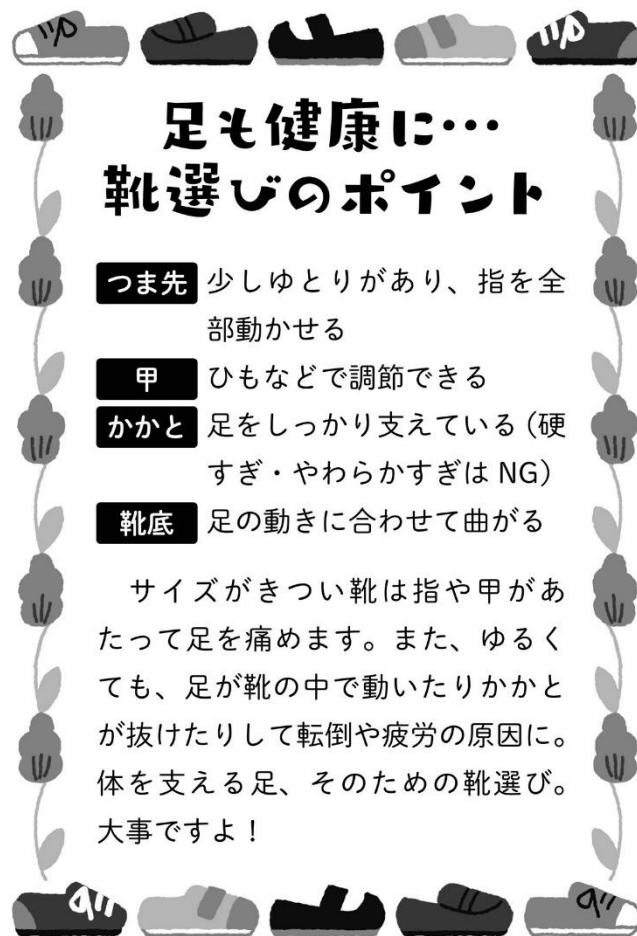
人によって違うので、他の人と比べる必要はありません。

ただ、体重の増え方が大きい人や、逆に体重

が減った人は生活を見直してみましよう。みなさん

上履きや体育着のサイズが合っているか確認してく

ださいね。



足も健康に… 靴選びのポイント

つま先 少しゆとりがあり、指を全部動かせる

甲 ひもなどで調節できる

かかと 足をしっかり支えている（硬すぎ・やわらかすぎはNG）

靴底 足の動きに合わせて曲がる

サイズがきつい靴は指や甲があたって足を痛めます。また、ゆるくても、足が靴の中で動いたりかかとかかとが抜けたりして転倒や疲労の原因に。体を支える足、そのための靴選び。大事ですよ！

おうちの方へ

感染力の強いコロナウイルスデルタ株が流行しています。1学期に引き続き、感染予防にご協力をお願いいたします。

国および小平市の基準の下、登校を控えていただくケース(出席停止)は以下のとおりです。

- ・ 児童または同居の家族が体調不良のとき（発熱、のどの違和感など、いつもの元気がない時）
- ・ 児童または同居の家族が新型コロナウイルスの検査中のとき
- ・ 児童または同居の家族の新型コロナウイルス感染がわかったとき
- ・ 児童または同居の家族が濃厚接触者に該当するとき

☆ 体調不良で学校を休む期間は回復後1日経過するまでです。また、兄弟も同じ期間お休みしていただくようお願いいたします。

☆ 万が一感染が発覚した時は、学校や地域で本人が参加した活動などを確認させていただきますのでご協力をお願いいたします。

保健室では児童が発熱などの体調不良となった場合は経過観察をせずに保護者に連絡させていただきますので、お迎えをお願いいたします。校医と相談し、保健室内に発熱や咳の症状がある児童がいる場合はケガ等の対応は廊下で行うことにさせていただきます。